

# 令和5年度 保育士の自己評価(自己チェック)

今年度の自分自身の業務を振り返り、自己チェックを行いました。(対象:保育士・保育補助職員)  
各チェック項目は『レインボー保育園職員マニュアル』等を基準としました。

(数字:% 小数点以下は四捨五入)

	項目	よくできた	できた	できなかった できなかつた できなかつた できなかつた	できなかつた	回答無し
1	遅刻をしないように余裕をもって出勤する	66	28	7		
2	(園児、保護者、職員等に対して)挨拶は笑顔で快く元気な声です	66	35			
3	相手と向き合い目をきちんと見て挨拶する(子どもに対しては、相手の目線までおりる)	59	41			
4	言葉づかいは、やさしい言葉で対応する	38	62			
5	子どもに対して、呼び捨てや傷つける言葉は絶対につかわない	52	48			
6	保護者に対して友達言葉はやめて、礼儀正しい言葉をつかう	55	41			4
7	職員間でも園内では先生同士ということをわきまえ、丁寧な言葉をつかう	38	62			
8	清潔で活動しやすい服装・身だしなみで業務にあたる	79	21			
9	爪は短く切り、マニキュアはしない	83	17			
10	突起のある指輪やピアスなどのアクセサリーはつけない	97	4			
11	授乳時は時計もはずし、子どもを傷つけないように配慮する	52	4			45
12	髪の毛の長い人は、結ぶなりして子どもに当たらないようにする	62	21			17
13	保育中は私語を慎み、いつでも子どもに手が届くような体勢をとる	24	76			
14	保育室を空にしないよう声をかけ合い、子どもだけにしない	59	41			
15	職員同士、正しくないと思ったことは注意しあう	10	52	24	7	7
16	怒鳴ったり、けなしたりせず、相手の立場に立って、きちんと話す	59	41			
17	室内外・廊下・階段等、ゴミをみつけたら拾い、棚の整理なども心掛ける	31	66	4		
18	子どもに対して、感情的に頭ごなしに大声で怒鳴らない	59	38	4		
19	子どもに対して、絶対に手はあげない	93	7			
20	子どもに対して、危険をともなうことや約束を破ることなどはきちんと向き合い伝える	48	52			
21	だらだらと叱らず、簡潔に分かりやすく伝える	38	52		4	7
22	年間で計画したことを、子どものその時の発達に合わせて、見通しをもって行う	17	35	7		41
23	保育について、子どもを長時間待たせないように準備しておく	24	38	4	4	31
24	全職員が一貫性(お互いが気をつけること、目標とするもの)をもって保育する	14	52	7		28
25	保育中に起こった怪我や事故、子どもの体調変化は些細なことでも報告する	55	45			

(数字:%)

	項目	よくできた (はい)	できた	あまり できなかった	できなかつ (いいえ)	回答無し
26	子どもの人権に配慮するとともに、それぞれの違いを認め尊重している	48	48	4		
27	子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしている	35	59	4		4
28	保育の主役はつねに子どもであることを心に留めている	55	45			
29	自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしている	45	52	4		
30	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいる	52	45	4		
31	おもなし等をしたとき優しく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している	59	41			
32	午睡などでは、子どもが安心して心地よく休めるよう配慮している	38	41			21
33	休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている	14	48			38
34	子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行なっている	41	52	4		4
35	和やかな雰囲気のなかで、子どもが楽しく食事に向き合えるよう配慮している	41	45	4		10
36	無理に急かしたりせずに、子どもの自分でしようとする気持ちを大切にしている	38	55	4		4
37	ひとりひとりの子どもをよく観察し、その場に適した言葉掛けをしている	28	66	4		4
38	事故の予防に努めた保育を行なっている	35	66			
39	障がいのある(と思われる)子どもの保育環境を整え、保育内容や方法に配慮している	14	38	10		38
40	保護者の不安や悩みに寄り添い、支援するよう心掛けている	17	38	4		41
41	子どもや保護者の個人情報やプライバシーに配慮している	62	28			10
42	虐待を疑われる子どもの情報を得たとき、関係機関に照会・通告する義務があることを知っている	97		4		
43	苦情解決の仕組みを知っている	69		28		4
44	不審者が侵入したとき、自分はどのように対応するか分かっている	76		21		4
45	他者が読んでも分かりやすい文書作成・記録を心掛けている	7	52	4		38
46	他の保育士との信頼関係づくりに努めている	52	35	7	4	4
47	他の職種(保育補助、栄養士、事務等)との信頼関係づくりに努めている	41	41	7		10
48	保育に関わる知識や技術の向上に努めている	21	59	14		7
49	保育士としての人間性を豊かにするための自己研鑽に努めている	14	62	17		7
50	自分自身の体調維持・健康管理に努めている	48	45	7		

※保育補助職員など、担当外の業務に関する設問には「回答なし」としている場合があります

## 令和5年度 保育所の自己評価

今年度の保育所の自己評価では、『認め合い、支え合いに向かって』とテーマを設定しました。保育士として他者（子ども・保護者・他職員など）へ向き合う際の大切なポイントは何か、互いの保育観を踏まえつつ、対話を通して振り返りをすすめました。また、昨今注目されている「Unconscious Bias（アンコンシャス・バイアス）＝無意識の偏見」について、事例などを通じて学びを深めました。

日 時：令和5年3月23日（土）9:15-10:40

場 所：本園2階（もりのへや）

参加者：保育士・園長・副園長（計12名）

方 法：①3グループに分ける

- ②下記の各テーマについて個人ワーク+グループワーク+発表をくりかえす
  - ・『保育をする上で、私が大切にしている（したい）こと』
  - ・『これまでの保育で、苦しかったこと、失敗したこと、悩んだこと』
  - ・『失敗した（苦しい・悩んでいる）同僚を支えるために、あなたができること』
- ③「Unconscious Bias（アンコンシャス・バイアス）＝無意識の偏見」について学ぶ

### 【グループワークの様子】



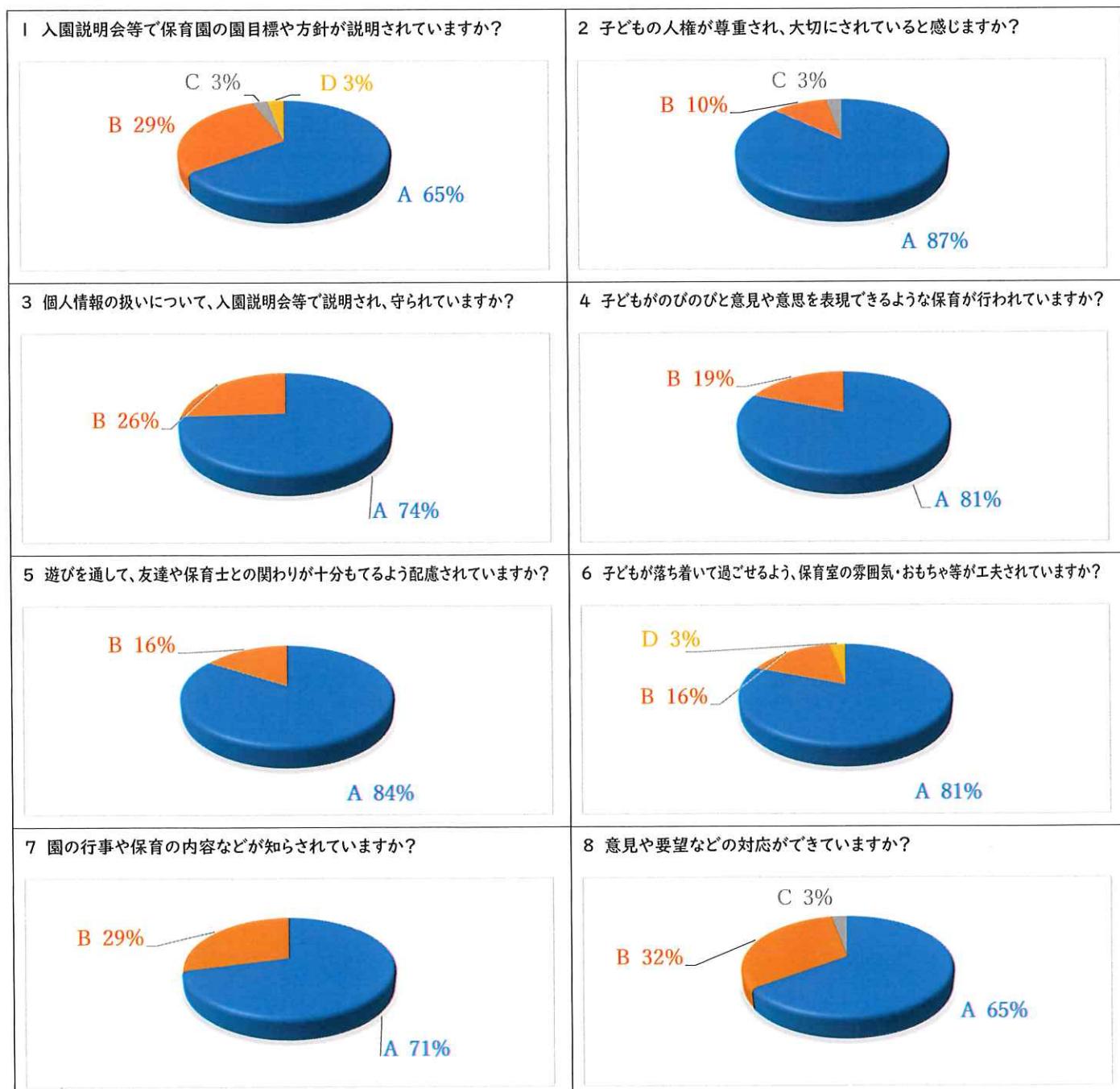
### 【参加者からの意見（今回のワークを通して、感じたこと。今後の保育に生かせそうなこと）】

- ・改めて文字にして考えてみると、色々な発見があった。皆、同じようなことで悩んで、同じように思うことがあると知れたので、今後コミュニケーションをとっていく上で、参考にしていきたいと思う。
- ・自分だけの保育の悩みと思っていたが、ベテランの先生方も同じように悩んでいる（悩みがあった）ことを聞いて安心した。また、グループワークをすることで他者の気付きを知れて自分も勉強になったし考えさせられた。
- ・これから世代の違う方も入ってくることで、自分の価値観・考え方を押しすぎないよう、まずは話を聞く姿勢を取ってこの1年保育をしていきたいです。
- ・周りの人に助けられた事もあるので自分から困っている人に気付き助けられるようにしていきたいです。それが、相手に対して嫌だなど感じられないようにも気を付けていきたいです。
- ・自分の性格上、体調以外の事はあまり感情に出さないようにしているが、少し出せるといいのかな…と思う。声を掛けるのも心配していても私が聞いて支える事が出来るのかと思う事もあったが、相手の迷惑にならない程度の声掛けをし役に立つ事が出来ればと思う。人それぞれなのでその人に合った対応を心掛けようと思う。
- ・様々な意見を聞くことで自分とは違う意見もあり、様々な考え方を知れてよかったです。

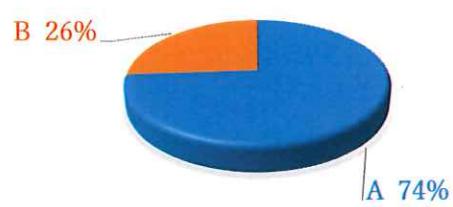
# レインボー保育園 令和5年度 保護者アンケート結果

当園の保育の質の向上ならびに円滑な運営のため、保護者のみなさまにアンケートのご協力をいただきました。集約の結果は下記の通りとなっております。いただいた貴重なご意見は、次年度以降の保育・運営に生かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

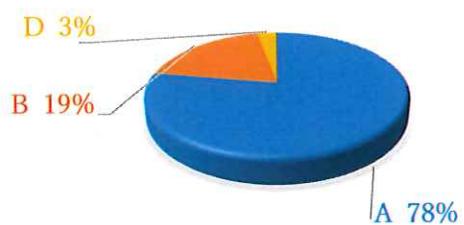
実施期間	アンケート方法（各項目について、評点を記入）				回収率
	十分できている	おおむねできている	改善を要する	わからない	
令和6年2月6日～29日	A	B	C	D	57.4%



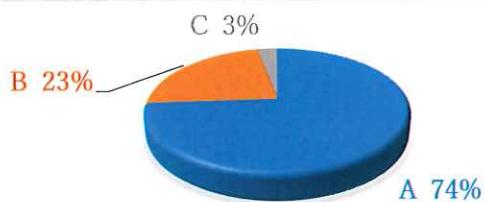
9 子育て相談など、話しやすい雰囲気がありますか？



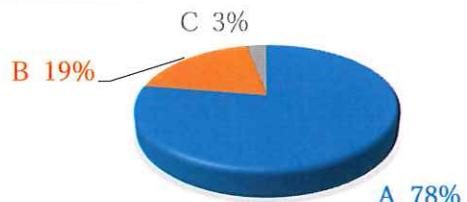
10 施設が安全で清潔な心地よい空間となっていますか？



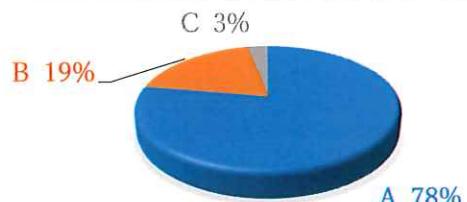
11 給食が楽しく食べられるよう工夫されていますか？



12 子どもの体調への気配りや怪我等に対して配慮がされていますか？



13 感染症の発生状況や注意事項など、健康に関して情報提供されていますか？



14 保育園に対しての総合満足度は？

